

やまぎん アジアニュース

2020年2月

●釜山支店Tel010-82-51-462-3281 ●青島支店Tel010-86-532-85766222 ●大連支店Tel010-86-411-83705288
●香港駐在員事務所Tel010-852-2521-7194



【香港駐在員事務所】

香港の現状について（2020年2月5日現在）

1. はじめに

外務省は1月31日、中国における新型コロナウイルスの発生に関して、香港の感染症危険レベルをレベル2「不要不急の渡航は止めてください」に引き上げました。これを受け香港では、日系企業が参加を予定していた各種展示会や会合等の多くが中止となっています。

また香港政府は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため春節（旧正月）明けの1月29日から政府職員の在宅勤務を認めており、民間にも可能な限り同様の措置を取るよう呼び掛けていることから、域内の経済活動は停滞感が漂っています。

昨年6月から続く「逃亡犯罪人条例」改正案を発端とする抗議デモが、11月の抗議デモ参加者の死亡事案発生・大学占拠等をピークに、商店やMTR（地下鉄）駅の破壊・放火といった過激な活動は下火となり、12月頃より少しずつではありますが、経済活動が再開されてきたと実感していた矢先の、新型コロナウイルスの発生でした。

2. 香港における新型コロナウイルスの状況

香港では1月23日に初の新型コロナウイルスによる肺炎患者が確認され、2020年2月5日現在の感染者は累計21人、死亡者1人となっています。今のところ急な感染拡大は見られていませんが、隣接する中国本土の広東省は感染者累計895人（うち深圳291人、広州249人、珠海72人）となっており、香港と広東省は陸続きで交流が深いため今後も十分な注意を必要としています。

3. 香港政府の対応状況

香港は2003年のSARS（重症急性呼吸器症候群）で300人近い死亡者を出した経験から、香港政府は比較的早く厳しい対応をしていると感じています。これまでの主な香港政府の対応は以下のとおりです。

2019年12月31日：

- ・WHO（世界保健機関）が中国武漢で原因不明の肺炎が発生していると発表。

【以下、香港政府の対応】

2020年1月4日：

- ・原因不明のウイルス性肺炎への警戒レベルを「嚴重」（3段階の中）に設定。

2020年1月8日：

- ・疾病予防に関する条例を一部改正し、中国武漢で発症者が増えている原因不明のウイルス性肺炎の感染が疑われる事例の当局への報告を義務付け。

2020年1月15日：

- ・春節（旧正月、1月25日）を祝う1月26日のビクトリア湾花火大会の中止を決定。昨年は警察発表で30万人以上が鑑賞。

2020年1月20日：

- ・1月21日より中国武漢発の航空便を利用する旅客に対し、健康状態に関する申告書類への記入を義務付け。

2020年1月25日：

- ・新型コロナウイルスによる肺炎への警戒レベルを「緊急」（3段階の最高）に引き上げ。
- ・2月に開催が予定されている香港マラソンを含む大型イベントの中止。
- ・域内の幼稚園、小中学校の春節（旧正月）休みを2月16日まで延長。
- ・香港と中国武漢を往来する航空便と高速鉄道の便を当面停止。
- ・全ての出入境検問所で旅客に健康状態の申告を義務付け。

2020年1月28日：

- ・春節（旧正月）休暇明けの1月29日から2月2日まで、政府職員の在宅勤務を認め、民間に対しても可能であれば同様の措置を取るよう呼び掛け。
- ・中国本土から高速鉄道が乗り入れる西九龍駅、及び香港と中国本土を結ぶ在来線の直通列車が発着するホンナム駅にある出入境検問所を1月30日から当面閉鎖。

2020年1月31日：

- ・2月2日まで政府職員に認めている在宅勤務を2月9日まで延長。
- ・2月16日までとっていた域内の幼稚園、小中学校の春節（旧正月）休みを3月1日まで延長。

2020年2月4日：

- ・2月4日より中国本土からの出入境検問所を新たに4か所閉鎖。現時点で閉鎖されていない検問所は、香港国際空港、香港とマカオ・本土を結ぶ海上橋「港珠澳大橋」、深圳西部の深圳湾の3検問所のみ。

2020年2月5日：

- ・中国本土から香港域内に入境する全ての旅客と香港住民に対し、14日間の隔離措置を義務付け。

4. 終わりに

最近香港では1日中マスクを着けているのが当たり前といった状況で、街中や公共交通施設等のマスクの着用率はおそらく9割以上だと思います。マスクが不足し毎日のように薬局等の前にマスクを求める行列ができています。

SARS（重症急性呼吸器症候群）を経験した香港ならではのかもしれませんが、香港政府だけでなく香港市民も新型コロナウイルスの感染に非常に敏感になっている状況です。



写真：街中の様子（バス停）

5. その他

14日以内に中国への渡航歴のある者の入国制限をしている国が増えており、その取扱いで「中国」に香港やマカオも含むかどうか表記が曖昧であり、海外旅行や出張を予定されている方は注意が必要です。

（山口銀行香港駐在員事務所 松本好弘）

【参考文献】

- ・ 外務省 海外安全ホームページ「香港 感染症危険情報」
- ・ The Daily NNA 香港&華南版
 - 「新型肺炎 日本訪問の男性が感染＝21人に」（2020年2月6日）
 - 「広東の新型肺炎感染者、累計895人に」（2020年2月6日）
 - 「武漢で肺炎患者増、香港政府が対応発表」（2020年1月6日）
 - 「武漢肺炎疑い、隔離を法制化 香港政府、違反者には罰則も」（2020年1月9日）
 - 「春節花火大会を中止、政府発表」（2020年1月16日）
 - 「香港、武漢発の旅客に健康状態申告義務付け」（2020年1月21日）
- ・ NNA 速報
 - 「香港政府、新型肺炎の警戒レベルを最高に」（2020年1月25日）
 - 「政府職員、来月2日まで在宅勤務に」（2020年1月28日）
 - 「高速鉄道の西九龍駅を閉鎖、香港政府」（2020年1月28日）
 - 「政府職員の在宅勤務と休校を延長、香港政府」（2020年1月31日）
 - 「中国本土からの入境、14日間の隔離義務化」（2020年2月5日）
- ・ Global Travel Restrictions Imposed Amid Novel Coronavirus Outbreak (2020年2月5日)